

令和4年3月15日  
豊岡市商工会

## 豊岡市商工会管内企業動向調査結果

(令和4年1月～3月期実績、令和4年4月～6月期見通し)

《1》 調査時点 令和4年3月4日

《2》 調査対象

調査依頼先  
150企業

有効回答数  
128企業 (回答率85%)

業種	企業数	城崎		竹野		日高		出石		但東		回答数
		対象	回答	対象	回答	対象	回答	対象	回答	対象	回答	
製造業	27	2	2	3	2	10	10	8	8	4	3	25
建設業	26	2	2	3	2	13	12	5	4	3	3	23
小売業	33	9	9	2	2	11	9	9	7	2	2	29
飲食業	22	7	6	2	2	6	4	6	6	1	1	19
宿泊業	20	8	7	5	3	7	5	0	0	0	0	15
サービス業	22	2	2	2	2	12	7	3	3	3	3	17
合計	150	30	28	17	13	59	47	31	28	13	12	128

《3》 調査項目

- ①売上高 ②仕入単価 ③採算性 ④資金繰り ⑤景況感  
⑥従業員の数 ⑦直面している経営上の問題 ⑧今後取り組んでいきたいこと  
⑨DXの取組 ⑩DXの取組で力を入れていること、取り組みたいこと

【令和3年1～3月期実績】

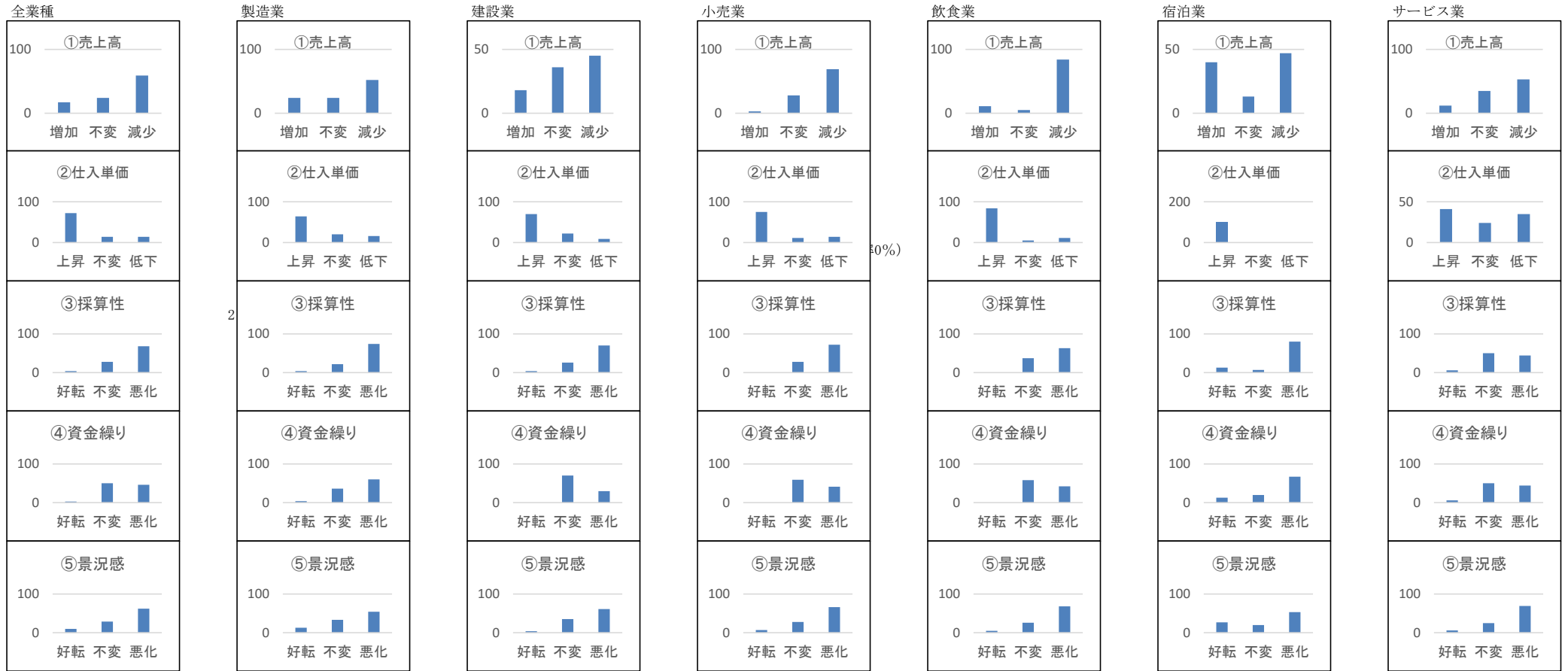
(1)	全業種の売上高DIは、(前期▲10→)▲42(前期比32ポイント悪化)となりマイナス幅が拡大した。
	業種別売上高DIは、全業種マイナス域であり、宿泊業のみポイントが上昇し、マイナス幅が縮小。
(2)	全業種の仕入単価DIは、(前期64→)51(前期比13ポイント上昇)となりプラス幅が縮小した。
	業種別仕入単価DIは、飲食店のみポイント上昇し、サービス業はマイナス域であった。
(3)	全業種の採算性DIは、(前期▲42→)▲65(前期比23ポイント悪化)となりマイナス幅が拡大した。
	業種別採算性DIは、全業種マイナス域であり、マイナス幅も拡大した。
(4)	全業種の資金繰りDIは、(前期▲21→)▲41となり(前期比20ポイント悪化)となりマイナス幅が拡大した。
	業種別資金繰りDIは、全業種マイナス域であり、宿泊業のみポイント上昇した。
(5)	全業種の景況感DIは、(前期▲14→)▲57(前期比43ポイント悪化)となりマイナス幅が拡大した。
	業種別の景況感DIは、全業種が上昇した。

【令和4年4～6月期の見通し】

(1)	全業種の売上高DIは、▲18となり3ポイントマイナス幅が拡大する見通し。
	業種別売上高DIは、製造業、小売業、飲食業、宿泊業、サービス業が上昇し、建設業は横ばいの見通し。
(2)	全業種の仕入単価DIは、68となり8ポイントプラス幅が拡大する見通し。
	業種別仕入単価DIは、全業種上昇する見通し。
(3)	全業種の採算性DIは、▲60となり15ポイントマイナス幅が拡大する見通し。
	業種別採算性DIは、製造業、建設業、小売業、宿泊業、サービス業が上昇し、飲食業が低下する見通し。
(4)	全業種の資金繰りDIは、▲41となり13ポイントマイナス幅が拡大する見通し。
	業種別の資金繰りDIは、製造業、建設業が上昇し、小売業、宿泊業、サービス業は低下、飲食業は横ばいの見通し。
(5)	全業種の景況感DIは、▲39となり15ポイントマイナス幅が拡大する見通し。
	業種別の景況感DIは、製造業、小売業、飲食業、宿泊業、サービス業が上昇し、建設業が低下する見通し。

【1】前年同期比

前年同期（令和3年1月～3月）と比べた今期（令和4年1月～3月）の状況



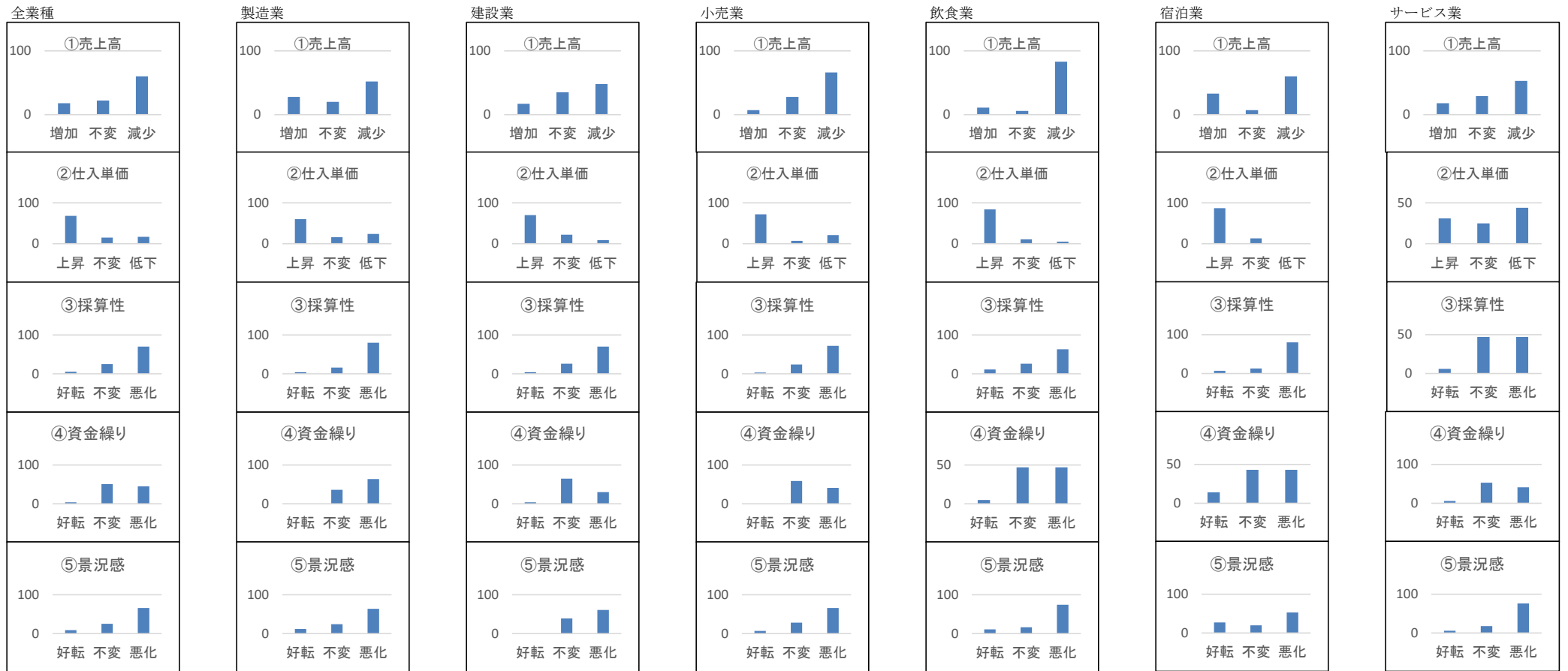
【全業種・業種別D I】

	全業種	製造業	建設業	小売業	飲食業	宿泊業	サービス業
売上高	▲ 42	▲ 28	▲ 27	▲ 66	▲ 73	▲ 7	▲ 41
仕入単価	58	48	61	61	73	100	6
採算性	▲ 64	▲ 70	▲ 66	▲ 72	▲ 63	▲ 67	▲ 38
資金繰り	▲ 43	▲ 56	▲ 30	▲ 41	▲ 42	▲ 54	▲ 38
景況感	▲ 52	▲ 41	▲ 57	▲ 59	▲ 63	▲ 26	▲ 63

(注) 売上D Iは「増加」企業割合－「減少」企業割合  
 仕入単価D Iは「上昇」企業割合－「低下」企業割合  
 採算性D Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合  
 資金繰りD Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合  
 景況感D Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合

【2】前期比

前期（令和3年10月～12月）と比べた今期（令和4年1月～3月）の状況



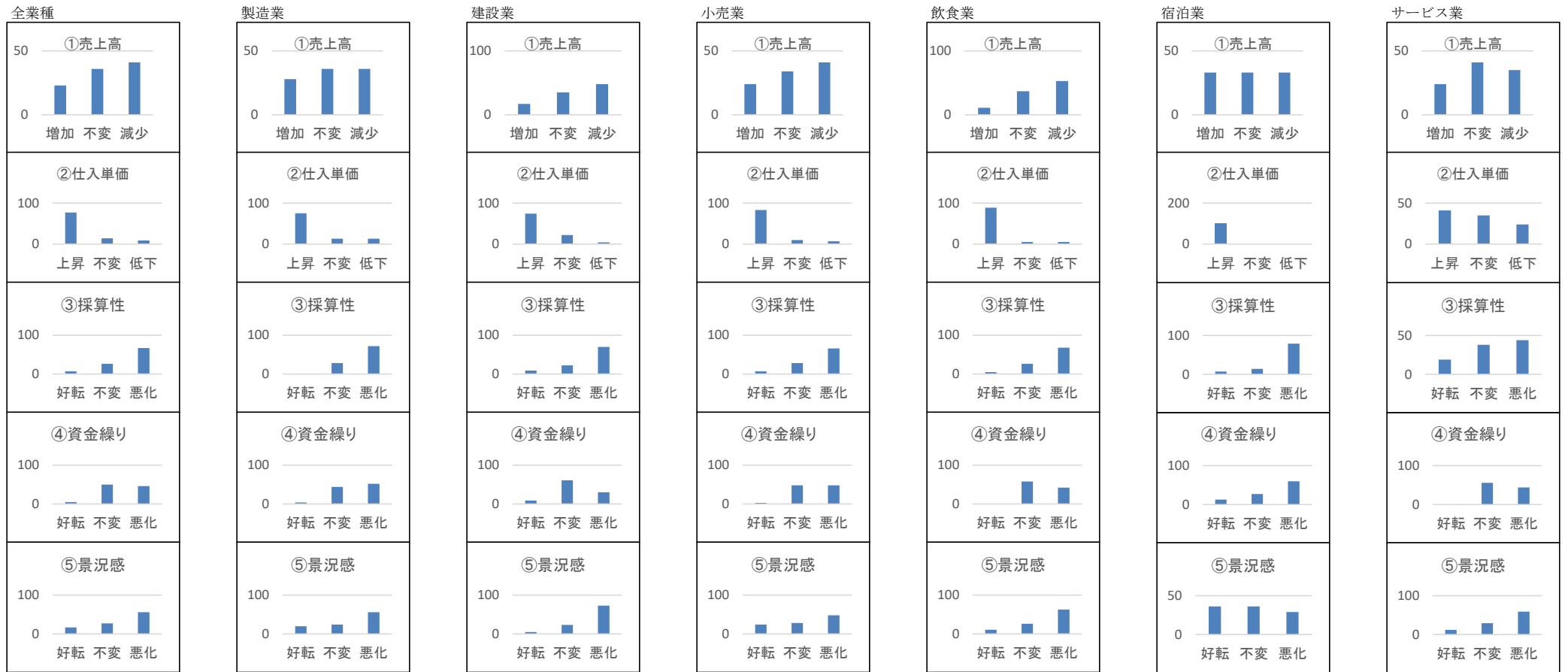
【全業種・業種別D I】

	全業種	製造業	建設業	小売業	飲食業	宿泊業	サービス業
売上高	▲ 42	▲ 24	▲ 31	▲ 59	▲ 72	▲ 27	▲ 35
仕入単価	51	36	61	51	79	87	▲ 13
採算性	▲ 65	▲ 76	▲ 66	▲ 69	▲ 52	▲ 73	▲ 41
資金繰り	▲ 41	▲ 64	▲ 26	▲ 41	▲ 42	▲ 29	▲ 35
景況感	▲ 57	▲ 52	▲ 61	▲ 59	▲ 63	▲ 26	▲ 70

(注) 売上D Iは「増加」企業割合－「減少」企業割合  
 仕入単価D Iは「上昇」企業割合－「低下」企業割合  
 採算性D Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合  
 資金繰りD Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合  
 景況感D Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合

【3】来期の見通し

今期（令和4年1月～3月）と比べた来期（令和4年4月～6月）の見通し

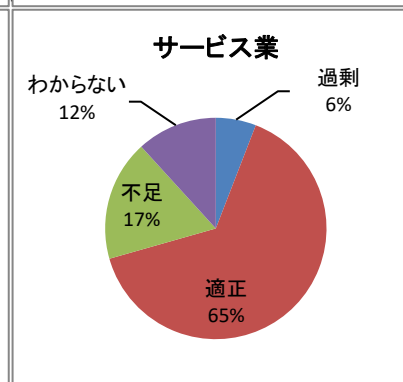
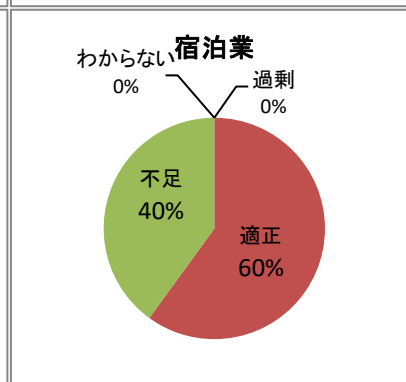
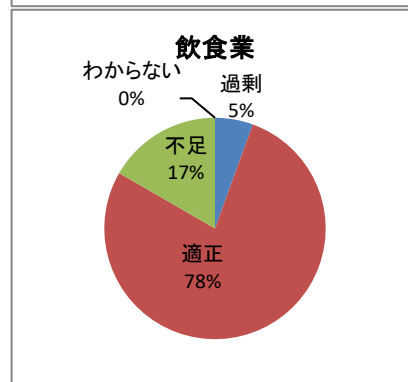
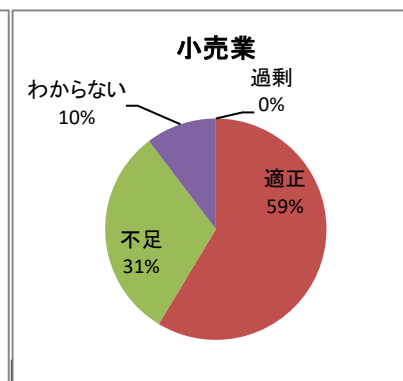
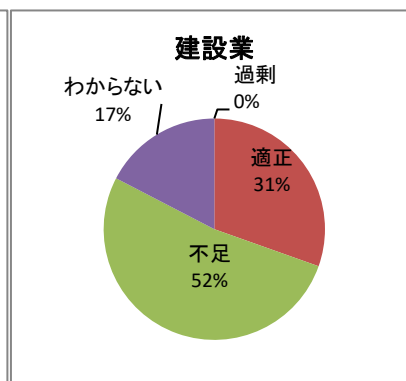
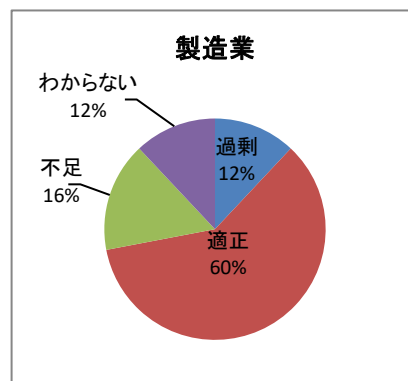
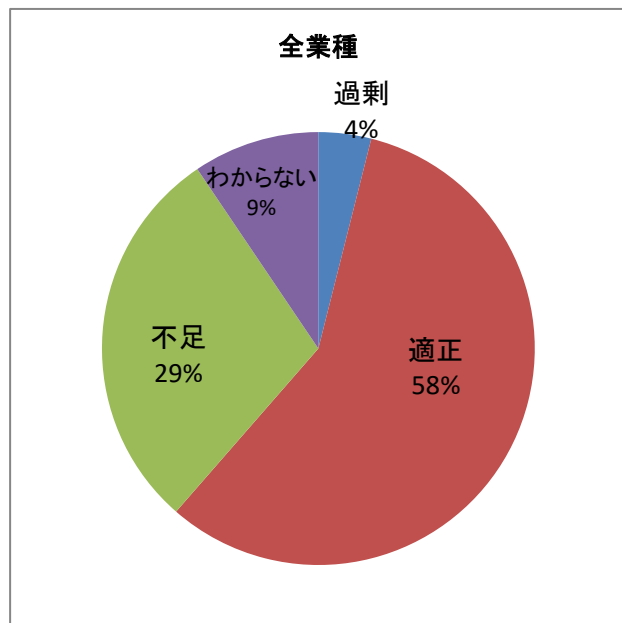


【全業種・業種別D I】

	全業種	製造業	建設業	小売業	飲食業	宿泊業	サービス業
売上高	▲ 18	▲ 8	▲ 31	▲ 17	▲ 42	0	▲ 11
仕入単価	68	62	70	76	84	100	17
採算性	▲ 60	▲ 72	▲ 61	▲ 59	▲ 63	▲ 72	▲ 25
資金繰り	▲ 41	▲ 48	▲ 21	▲ 45	▲ 42	▲ 47	▲ 44
景況感	▲ 39	▲ 36	▲ 68	▲ 24	▲ 52	7	▲ 47

(注) 売上D Iは「増加」企業割合－「減少」企業割合  
 仕入単価D Iは「上昇」企業割合－「低下」企業割合  
 採算性D Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合  
 資金繰りD Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合  
 景況感D Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合

【4】従業員（臨時・パート含む）の人数について



今期（R4.1～3）

⑥従業員の人数（件数）	全業種		製造業		建設業		小売業		飲食業		宿泊業		サービス業	
	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率
過剰	5	3.9%	3	12.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	5.6%	0	0.0%	1	5.9%
適正	73	57.5%	15	60.0%	7	30.4%	17	58.6%	14	77.8%	9	60.0%	11	64.7%
不足	37	29.1%	4	16.0%	12	52.2%	9	31.0%	3	16.7%	6	40.0%	3	17.6%
わからない	12	9.4%	3	12.0%	4	17.4%	3	10.3%	0	0.0%	0	0.0%	2	11.8%
合計	127		25		23		29		18		15		17	

対前期比（R3.10～12）

⑥従業員の人数（件数）	全業種		製造業		建設業		小売業		飲食業		宿泊業		サービス業	
	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減
過剰	2.1%	1.8	4.2%	7.8	0.0%	0.0	3.0%	-3.0	4.5%	1.1	0.0%	0.0	0.0%	5.9
適正	57.9%	-0.4	66.7%	-6.7	39.1%	-8.7	60.6%	-2.0	72.7%	5.1	41.2%	18.8	61.9%	2.8
不足	32.9%	-3.8	20.8%	-4.8	47.8%	4.4	24.2%	6.8	22.7%	-6.0	58.8%	-18.8	33.3%	-15.7
わからない	7.1%	2.3	8.3%	3.7	13.0%	4.4	12.1%	-1.8	0.0%	0.0	0.0%	0.0	4.8%	7.0

**【実績】**

- ・従業員の人数が「過剰」と認識している経営者は、「製造業」、「サービス業」、「飲食業」の順で多い。また、前期比較では「建設業」、「サービス業」、「飲食業」でポイント増加しており、「建設業」、「宿泊業」ではポイントの増減がなく、「小売業」はポイント減少している。
- ・従業員の人数が「適正」と認識している経営者は、「飲食業」、「サービス業」、「製造業」、「宿泊業」の順で多い。また、前期比較では「宿泊業」、「飲食業」、「サービス業」の順でポイント増加幅が大きく、「建設業」、「製造業」、「小売業」の順でポイント減少幅が大きい。
- ・従業員の人数が「不足」と認識している経営者は、「建設業」、「宿泊業」、「小売業」の順で多い。また、前期比較では「小売業」、「建設業」の順でポイント増加幅が大きく、「宿泊業」、「サービス業」、「飲食業」の順でポイント減少幅が大きい。

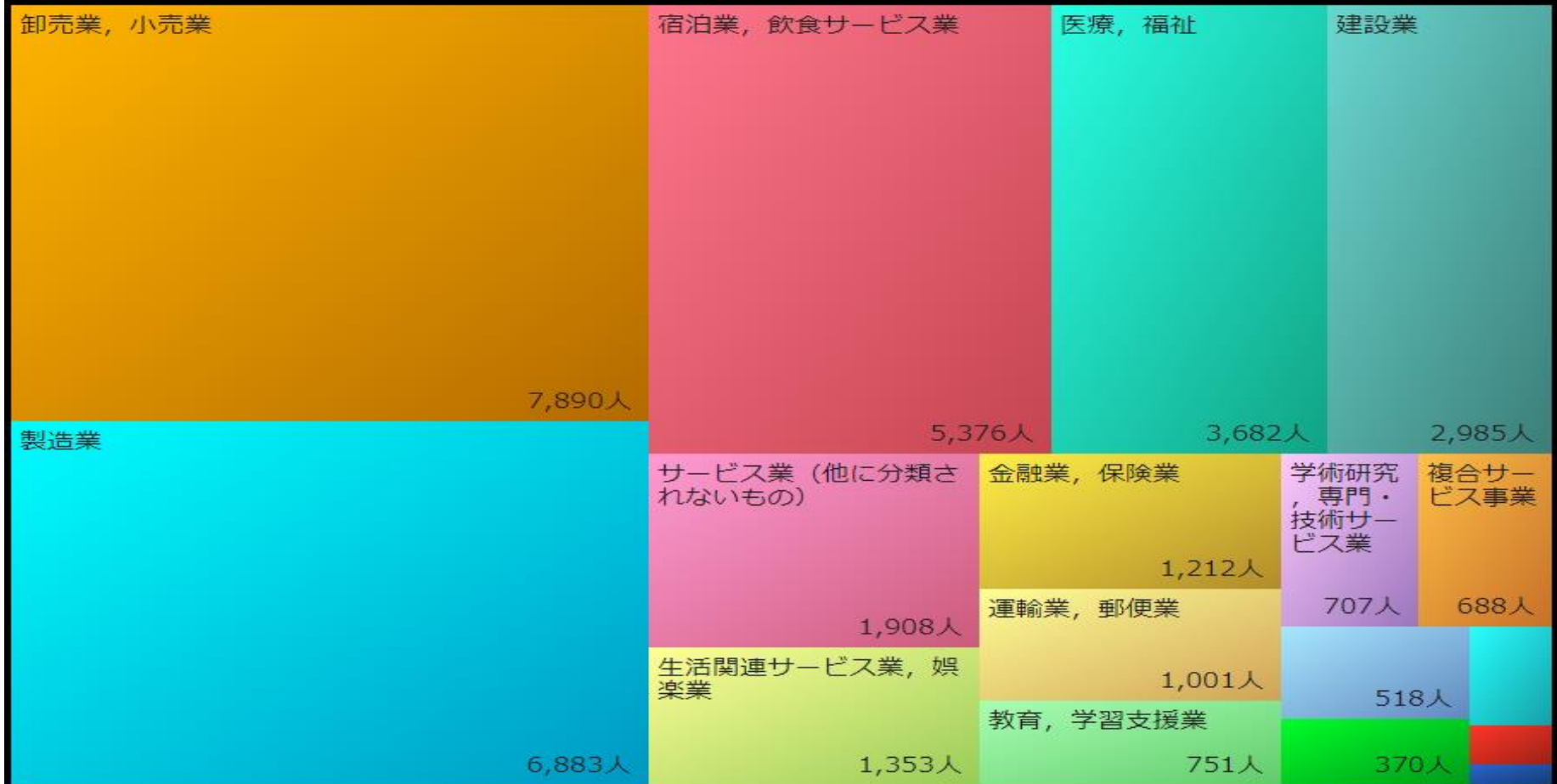
業種別で「適正」の割合が最も高いのは「製造業」、「小売業」、「飲食業」、「宿泊業」、「サービス業」であり、「不足」の割合が最も高いのは「建設業」であった。

- ・従業員過不足（「過剰」－「不足」）は、製造業▲4.0、建設業▲52.2、小売業▲31.0、飲食業▲11.1、宿泊業▲40.0、サービス業▲11.7で

# 2016年 従業者数(事業所単位) 大分類

兵庫県豊岡市

従業者数(事業所単位) : 35,719人





# 兵庫県の求人情報数 - 職種ごとの2019年同週比の推移

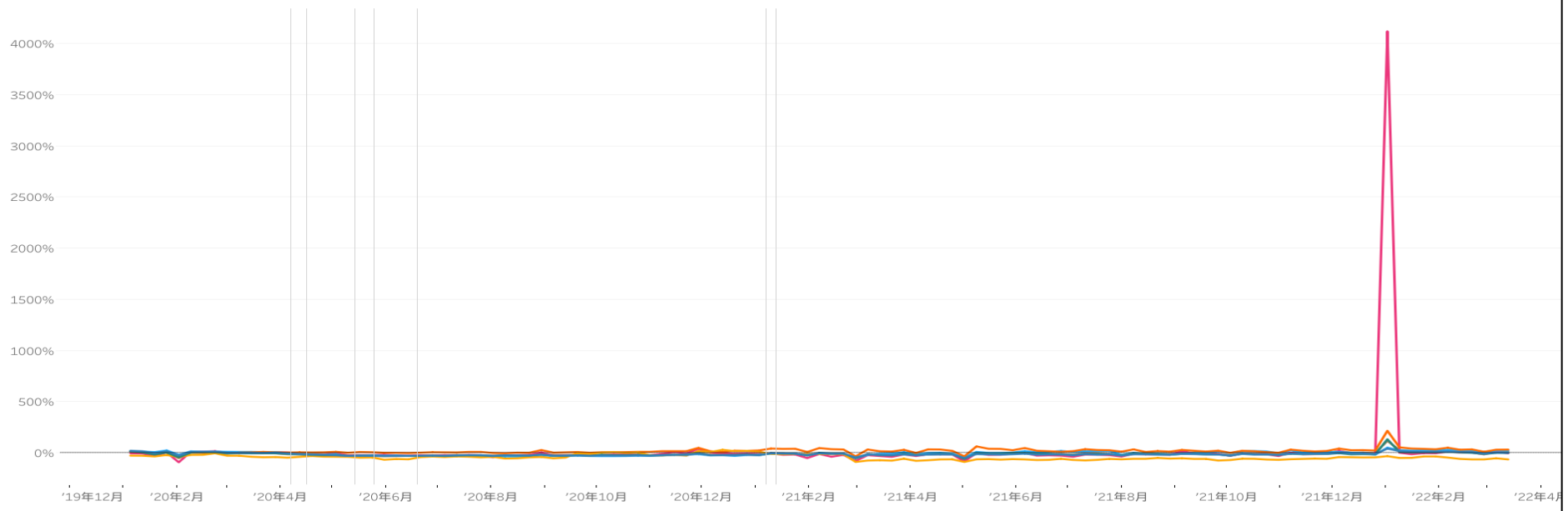
2019年12月30日 ~ 2022年3月13日

職種の分類

その他の職種

職種の分類：

- すべての職種
- 公務員/団体職員
- 製造/工場/化学/食品
- 物流/警備/調査
- 営業/事務/企画/管理
- 建設/土木/エネルギー
- 農林水産関連

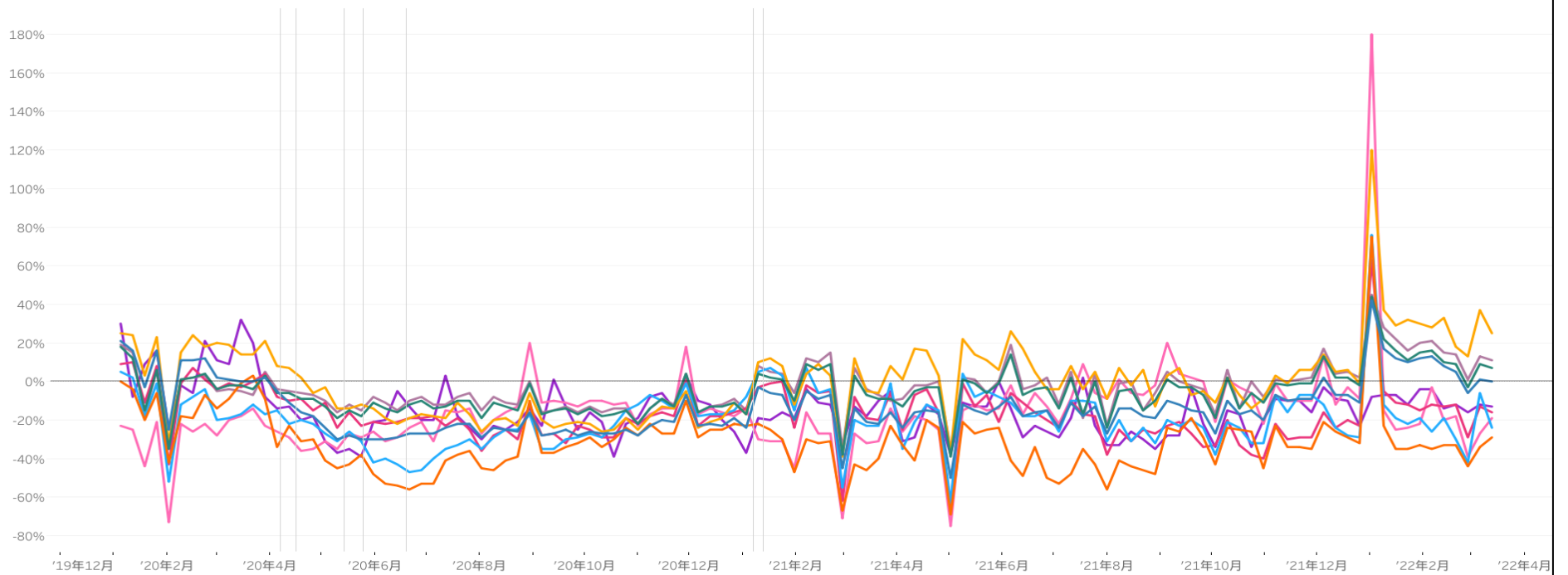


# 職種分類

## 専門職

職種分類:

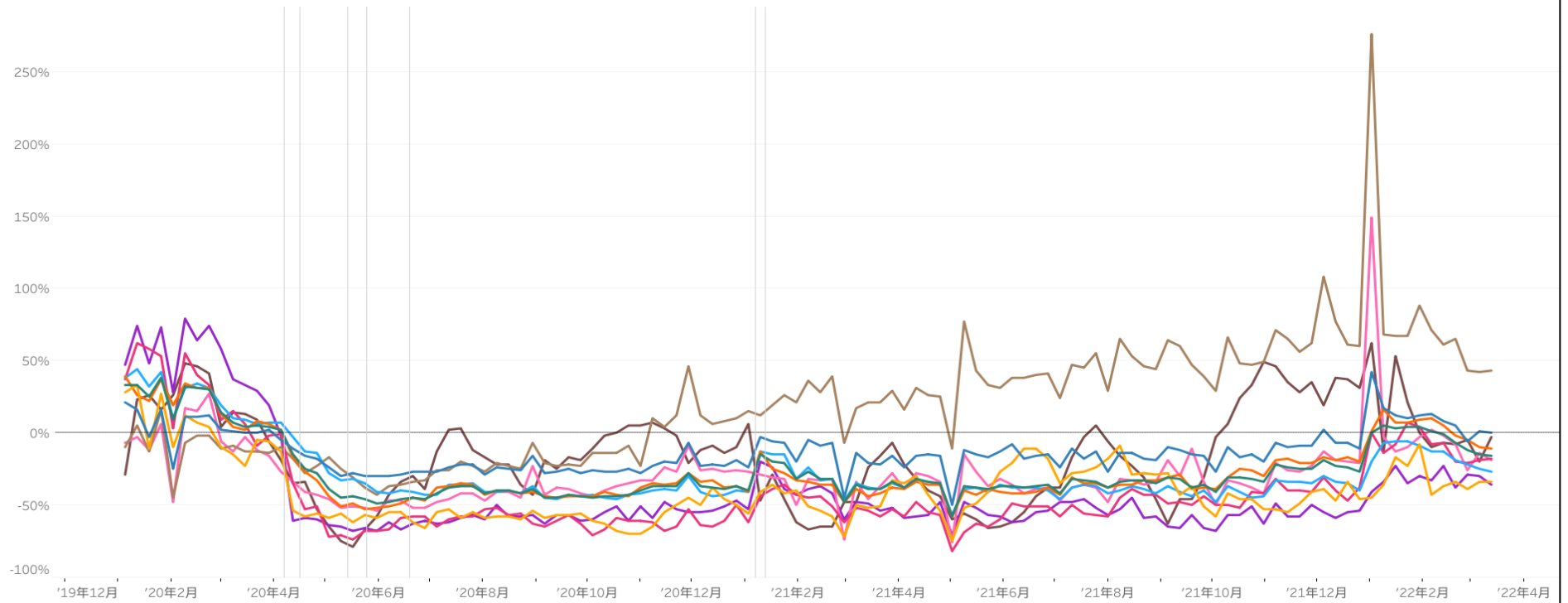
- すべての職種
- IT系専門職
- クリエイティブ (Web系)
- 医療/医薬/福祉
- 教育/語学/スポーツ
- すべての専門職
- クリエイティブ (Web除く)
- エンジニア(IT除く)
- 専門職



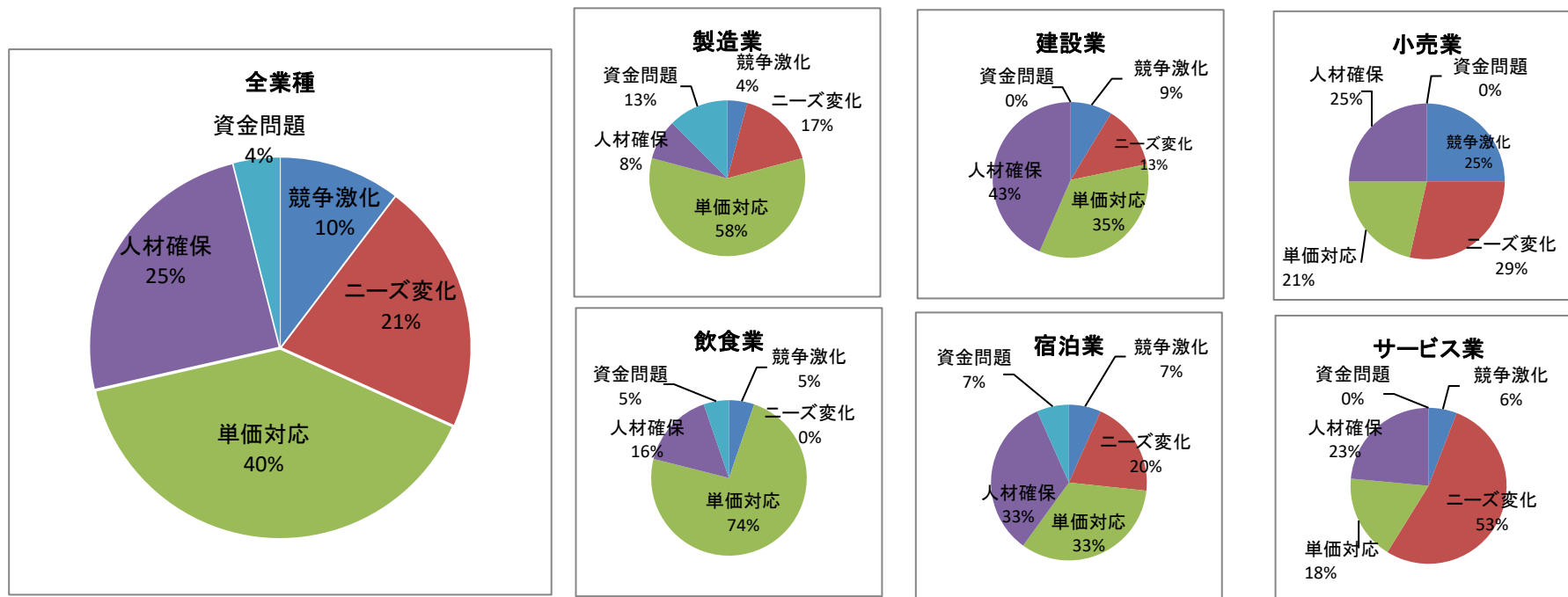
# 販売・サービス職

職種の分類：

- すべての職種
- すべての販売・サービス職
- 映像/イベント/芸能
- 飲食/フード
- 販売/接客/サービス
- ファッション/インテリア
- 美容/エステ/ネイル
- 宿泊/ブライダル
- アミューズメント
- ナイトワーク



【5】直面している経営上の問題点について



今期 (R4.1~3)

⑦直面している経営上の問題点	全業種		製造業		建設業		小売業		飲食業		宿泊業		サービス業		
	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率	
大手企業(大型店)進出、インターネット普及による販売競争の激化	13	10.3%	1	4.2%	2	8.7%	7	25.0%	1	5.3%	1	6.7%	1	5.9%	競争激化
消費者(製品) ニーズ変化への対応	27	21.4%	4	16.7%	3	13.0%	8	28.6%	0	0.0%	3	20.0%	9	52.9%	ニーズ変化
仕入単価(原材料)の上昇、販売受注単価の低下	50	39.7%	14	58.3%	8	34.8%	6	21.4%	14	73.7%	5	33.3%	3	17.6%	単価対応
必要な人材の雇用確保	31	24.6%	2	8.3%	10	43.5%	7	25.0%	3	15.8%	5	33.3%	4	23.5%	人材確保
事業資金の借入難	5	4.0%	3	12.5%	0	0.0%	0	0.0%	1	5.3%	1	6.7%	0	0.0%	資金問題
合計	126		24		23		28		19		15		17		

対前期比（R3.10～12）

⑦直面している経営上の問題点	全業種		製造業		建設業		小売業		飲食業		宿泊業		サービス業		
	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	
大手企業（大型店）進出、インターネット普及による販売競争の激化	10.6%	-0.3	4.2%	0.0	0.0%	8.7	33.3%	-8.3	0.0%	5.3	0.0%	6.7	14.3%	-8.4	競争激化
消費者（製品）ニーズ変化への対応	22.0%	-0.6	25.0%	-8.3	12.5%	0.5	24.2%	4.4	18.2%	-18.2	5.9%	14.1	42.9%	10.0	ニーズ変化
仕入単価（原材料）の上昇、販売受注単価の低下	35.5%	4.2	50.0%	8.3	41.7%	-6.9	12.1%	9.3	54.5%	19.2	58.8%	-25.5	9.5%	8.1	単価対応
必要な人材の雇用確保	27.0%	-2.4	12.5%	-4.2	37.5%	6.0	27.3%	-2.3	18.2%	-2.4	35.3%	-2.0	33.3%	-9.8	人材確保
事業資金の借入難	5.0%	-1.0	8.3%	4.2	8.3%	-8.3	3.0%	-3.0	9.1%	-3.8	0.0%	6.7	0.0%	0.0	資金問題

「大手企業（大型店）進出、インターネット普及による販売競争の激化」に直面している経営者の割合は、「小売業」が最も高く、「建設業」、「宿泊業」が順で続く。また前期比較では「建設業」、「宿泊業」、「飲食業」の順でポイント増加幅が大きく、「サービス業」、「小売業」の順でポイント減少幅が大きい。

「消費者（製品）ニーズ変化への対応」に直面している経営者の割合は、「サービス業」が特に高く、「小売業」、「宿泊業」が順に続く。また前期比較では、「宿泊業」、「サービス業」、「小売業」の順でポイント増加幅が大きく、「飲食業」、「製造業」の順でポイント減少幅が大きい。

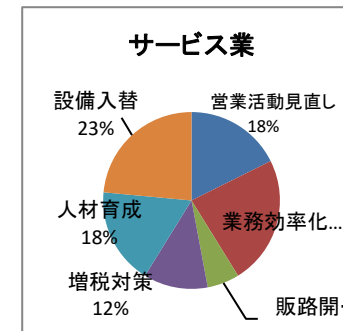
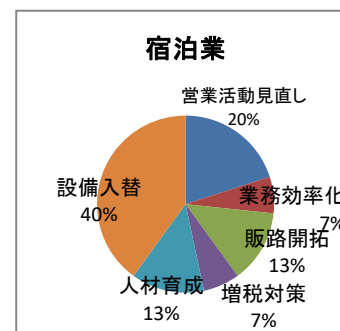
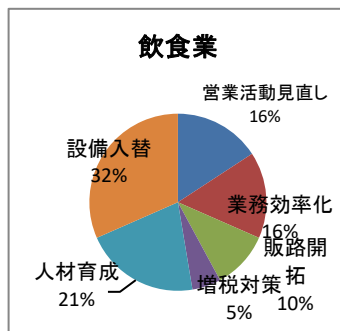
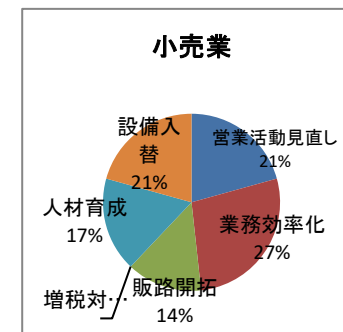
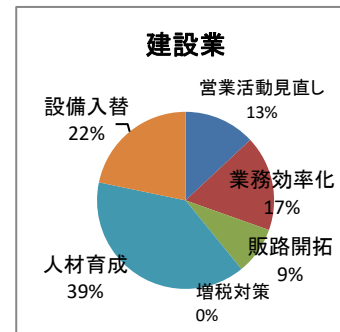
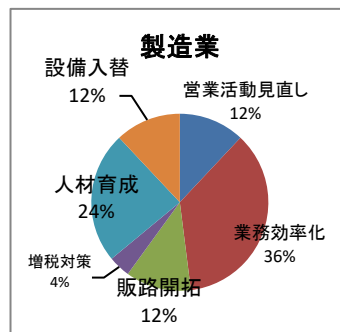
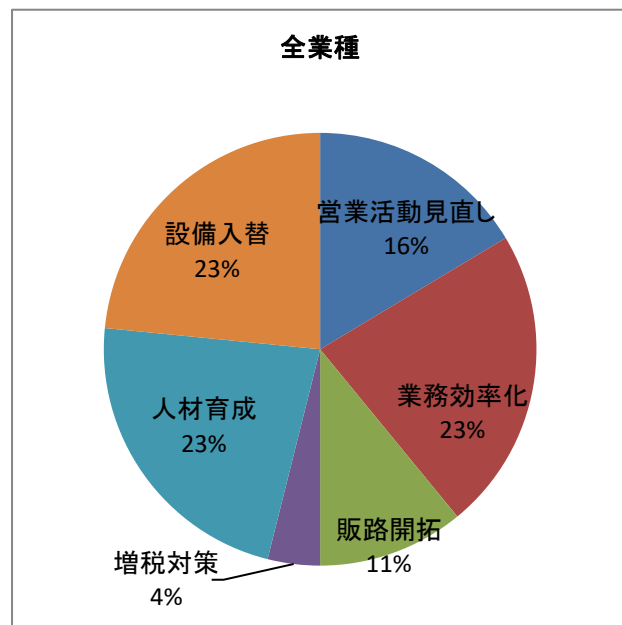
「仕入単価（原材料）の上昇、販売受注単価の低下」に直面している経営者の割合は、「飲食業」、「製造業」が他の項目に比べて突出して高い。また前期比較では、「飲食業」、「製造業」、「サービス業」の順でポイント増加幅が大きく、「宿泊業」、「建設業」の順でポイント減少幅が大きい。

「必要な人材の雇用確保」に直面している経営者の割合は、「建設業」が最も高く、「宿泊業」、「小売業」が順で続く。また前期比較では、「建設業」のみポイント増加しており、「サービス業」、「製造業」、「飲食業」の順でポイント減少幅が大きい。

「事業資金の借入難」に直面している経営者の割合は、「製造業」、「宿泊業」、「飲食業」の順で高い。また前期比較では、「宿泊業」、「製造業」の順でポイント増加し幅が大きく、「建設業」、「飲食業」、「小売業」の順でポイント減少幅が大きい。

○原油価格の高騰、原材料価格の高騰、人件費の高騰等の影響から「仕入単価（原材料）の上昇、販売受注単価の低下」が全体の1位（約39.7%）

【6】今後、取り組んでいきたいこと



今期 (R 4. 1 ~ 3)

⑧今後、取り組んでいきたいこと	全業種		製造業		建設業		小売業		飲食業		宿泊業		サービス業		
	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率	
既存顧客のリスト化、営業活動の見直し	21	16.4%	3	12.0%	3	13.0%	6	20.7%	3	15.8%	3	20.0%	3	17.6%	営業活動見直し
業務の効率化、仕事の見える化	29	22.7%	9	36.0%	4	17.4%	8	27.6%	3	15.8%	1	6.7%	4	23.5%	業務効率化
販路開拓 (商談会・展示会・プレスリリース等)	14	10.9%	3	12.0%	2	8.7%	4	13.8%	2	10.5%	2	13.3%	1	5.9%	販路開拓
消費税増税対策、会計管理の見直し	5	3.9%	1	4.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	5.3%	1	6.7%	2	11.8%	増税対策
人材育成、社員教育	29	22.7%	6	24.0%	9	39.1%	5	17.2%	4	21.1%	2	13.3%	3	17.6%	人材育成
設備の入替・更新	30	23.4%	3	12.0%	5	21.7%	6	20.7%	6	31.6%	6	40.0%	4	23.5%	設備入替
合計	128		25		23		29		19		15		17		

対前期比（R3.10～12）

⑧今後、取り組んでいきたいこと	全業種		製造業		建設業		小売業		飲食業		宿泊業		サービス業		
	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	
既存顧客のリスト化、営業活動の見直し	14.3%	2.1	0.0%	12.0	8.3%	4.7	27.3%	-6.6	4.5%	11.3	12.5%	7.5	28.6%	-11.0	営業活動見直し
業務の効率化、仕事の見える化	27.1%	-4.4	37.5%	-1.5	29.2%	-11.8	21.2%	6.4	36.4%	-20.6	12.5%	-5.8	23.8%	-0.3	業務効率化
販路開拓（商談会・展示会・プレスリリース等）	7.9%	3.0	8.3%	3.7	8.3%	0.4	15.2%	-1.4	0.0%	10.5	12.5%	0.8	0.0%	5.9	販路開拓
消費税増税対策、会計管理の見直し	5.7%	-1.8	8.3%	-4.3	0.0%	0.0	9.1%	-9.1	13.6%	-8.3	0.0%	6.7	0.0%	11.8	増税対策
人材育成、社員教育	20.7%	2.0	29.2%	-5.2	41.7%	-2.6	12.1%	5.1	9.1%	12.0	6.3%	7.0	23.8%	-6.2	人材育成
設備の入替・更新	24.3%	-0.9	16.7%	-4.7	12.5%	9.2	15.2%	5.5	36.4%	-4.8	56.3%	-16.3	23.8%	-0.3	設備入替

「既存顧客のリスト化、営業活動の見直し」を検討している経営者の割合は、「小売業」、「宿泊業」、「サービス業」の順で高い。また前期比較では、「製造業」、「飲食業」、「宿泊業」の順でポイント増加幅が大きく、「サービス業」、「小売業」の順でポイント減少幅が大きい。

「業務の効率化、仕事の見える化」を検討している経営者の割合は、「製造業」、「小売業」、「サービス業」の順で高い。また前期比較では、「小売業」のみポイント増加。「飲食業」、「建設業」は2桁ポイント減少している。

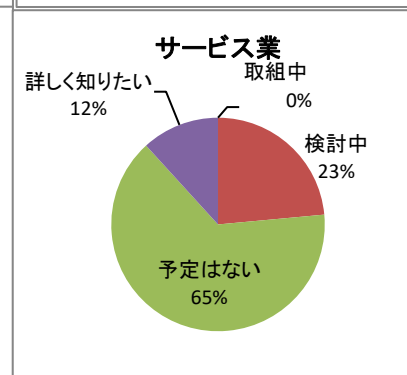
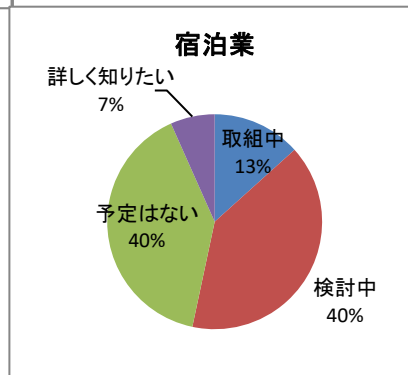
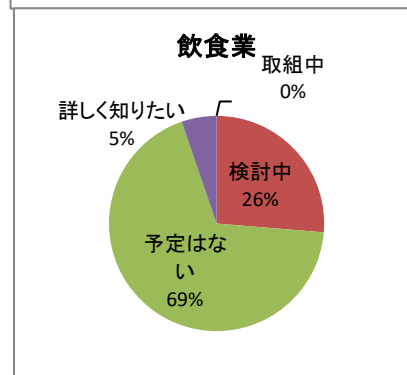
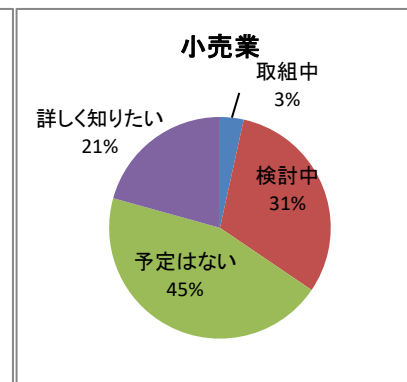
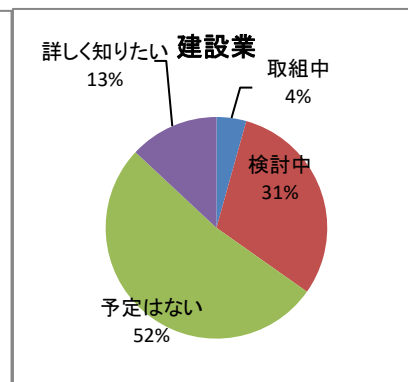
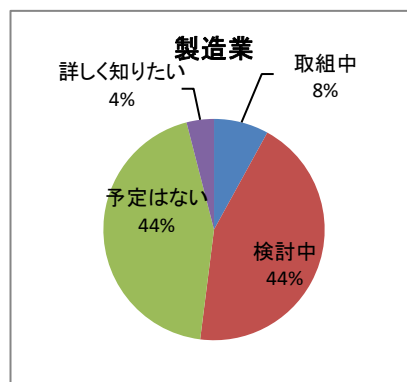
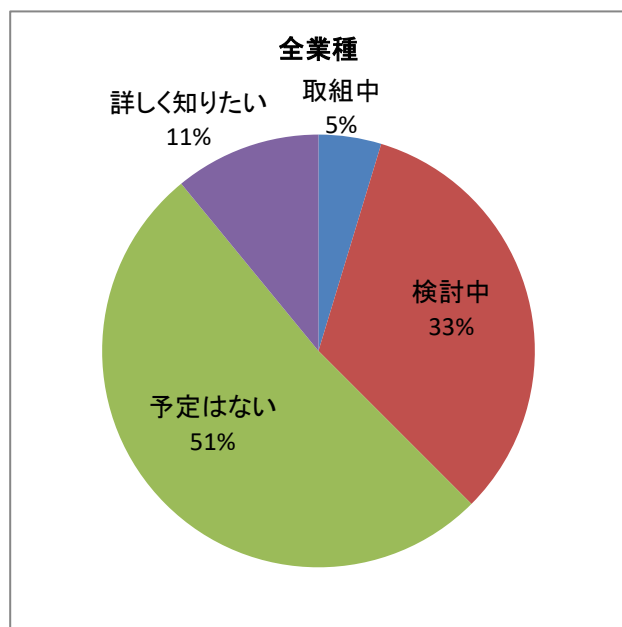
「販路開拓（商談会・展示会・プレスリリース等）」を検討している経営者の割合は、「小売業」、「宿泊業」、「製造業」の順で高い。また前期比較では、「飲食業」、「サービス業」の順でポイント増加幅が大きく、「小売業」のみポイント減少している。

「消費税増税対策、会計管理の見直し」を検討している経営者の割合は、「サービス業」、「宿泊業」の順で高い。また前期比較では、「サービス業」、「宿泊業」の順でポイント増加幅が大きく、「小売業」、「飲食業」、「製造業」の順でポイント減少幅が大きい。

「人材育成、社員教育」を検討している経営者の割合は、「建設業」、「製造業」、「飲食業」の順で高い。また前期比較では、「飲食業」、「宿泊業」、「小売業」の順でポイント増加幅が大きく、「サービス業」、「製造業」、「建設業」の順でポイント減少幅が大きい。

「設備の入替・更新」を検討している経営者の割合は、「宿泊業」、「飲食業」、「サービス業」の順で高い。また前期比較では、「建設業」、「小売業」の順でポイント増加幅が大きく、「宿泊業」、「飲食業」、「製造業」の順でポイント減少幅が大きい。

【7】DXの取組を実施していますか？



今期 (R4.1~3)

⑨DXの取組を実施していますか？	全業種		製造業		建設業		小売業		飲食業		宿泊業		サービス業		
	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率	
取り組んでいる	6	4.7%	2	8.0%	1	4.3%	1	3.4%	0	0.0%	2	13.3%	0	0.0%	取組中
取組を検討中	42	32.8%	11	44.0%	7	30.4%	9	31.0%	5	26.3%	6	40.0%	4	23.5%	検討中
取組予定はない	66	51.6%	11	44.0%	12	52.2%	13	44.8%	13	68.4%	6	40.0%	11	64.7%	予定はない
DXについて詳しく知りたい	14	10.9%	1	4.0%	3	13.0%	6	20.7%	1	5.3%	1	6.7%	2	11.8%	詳しく知りたい
合計	128		25		23		29		19		15		17		



対前期比（R3.10～12）

⑨DXの取組を実施していますか？	全業種		製造業		建設業		小売業		飲食業		宿泊業		サービス業		
	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	
取り組んでいる	6.4%	-1.7	12.5%	-4.5	0.0%	4.3	6.1%	-2.7	4.5%	-4.5	11.8%	1.5	4.8%	-4.8	営業活動見直し
取組を検討中	31.2%	1.6	33.3%	10.7	50.0%	-19.6	30.3%	0.7	18.2%	8.1	23.5%	16.5	28.6%	-5.1	業務効率化
取組予定はない	51.8%	-0.2	50.0%	-6.0	37.5%	14.7	48.5%	-3.7	59.1%	9.3	58.8%	-18.8	61.9%	2.8	販路開拓
DXについて詳しく知りたい	10.6%	0.3	4.2%	-0.2	12.5%	0.5	15.2%	5.5	18.2%	-12.9	5.9%	0.8	4.8%	7.0	増税対策

「取り組んでいる」経営者の割合は、「宿泊業」が10%以上で最も高く、次いで「製造業」が高かった。

「取組を検討中」である経営者の割合は、「製造業」、「宿泊業」、「小売業」の順で高い。全体では約32.8%で2番目に高い。

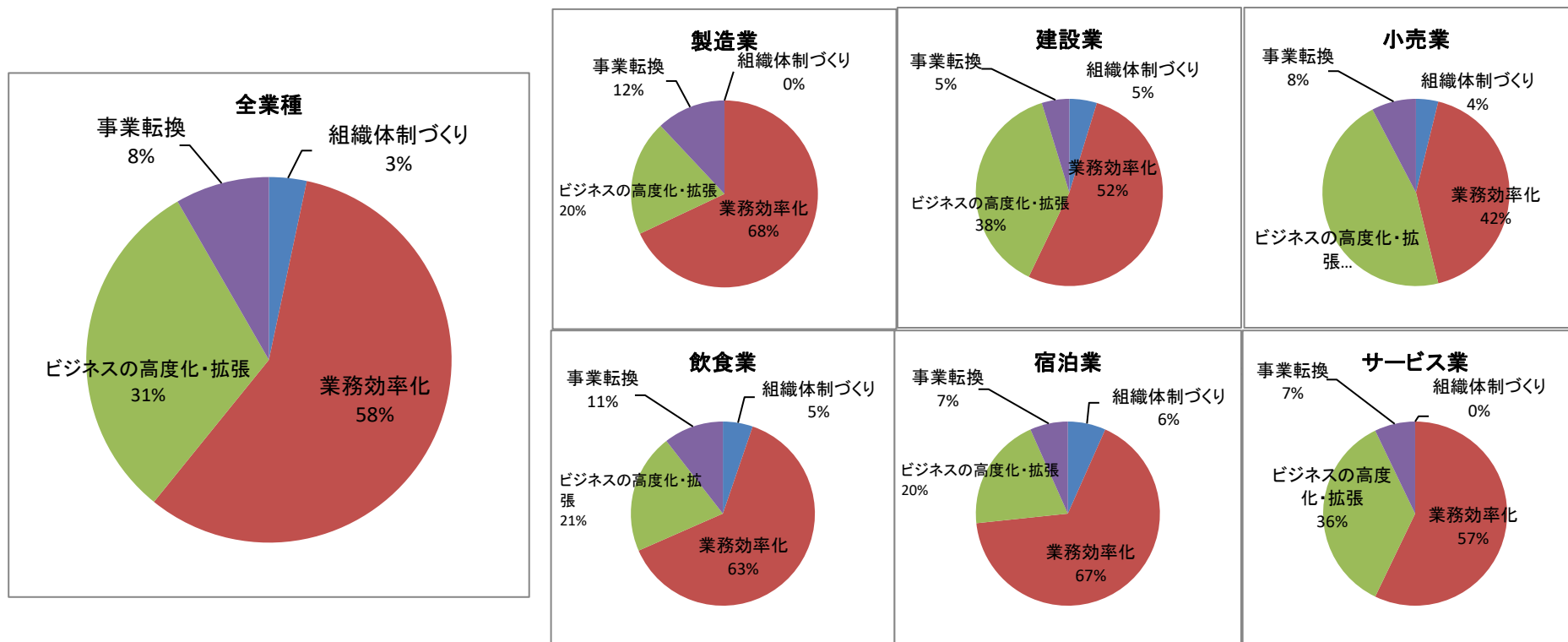
「取り組む予定はない」経営者の割合は、「飲食業」、「サービス業」、「建設業」の順で高い。全体では約51.6%で最も高い。

「DXについて詳しく知りたい」経営者の割合は、「飲食業」、「建設業」、「サービス業」の順で高い。

○DXに関して「取組予定はない」と答えた経営者が51.6%（前期比0.2ポイント減）であった一方で、「取組を検討中」と答えた経営者は、32.8%（前期比1.6ポイント増）と関心は高くなっている。

デジタル化に向け、業種や事業規模によっても、様々な課題はある。主だったものとして、「アナログな文化・価値観の定着」や「組織のITリテラシー不足」、「長年の取引慣行」、「明確な目的・目標が定まっていない」、「資金不足」、「組織体制」の課題が挙げられる。

【8】DXの取組内容で力を入れていること、取り組みたいことは何ですか？



今期 (R 4. 1 ~ 3)

DXの取組内容で力を入れていること、取り組みたいこと	全業種		製造業		建設業		小売業		飲食業		宿泊業		サービス業		
	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率	
DX推進のための組織体制づくり	4	3.3%	0	0.0%	1	4.8%	1	3.8%	1	5.3%	1	6.7%	0	0.0%	組織体制づくり
業務内容のデジタル化による業務効率化	69	57.5%	17	68.0%	11	52.4%	11	42.3%	12	63.2%	10	66.7%	8	57.1%	業務効率化
デジタルを活用した既存ビジネスの高度化や拡張	37	30.8%	5	20.0%	8	38.1%	12	46.2%	4	21.1%	3	20.0%	5	35.7%	ビジネスの高度化・拡張
デジタル化による事業転換	10	8.3%	3	12.0%	1	4.8%	2	7.7%	2	10.5%	1	6.7%	1	7.1%	事業転換
合計	120		25		21		26		19		15		14		

対前期比（R3.10～12）

10DXの取組内容で力を入れていること、取り組みたいこと	全業種		製造業		建設業		小売業		飲食業		宿泊業		サービス業		
	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	
DX推進のための組織体制づくり	3.1%	0.2	0.0%	0.0	4.5%	0.3	3.4%	0.4	4.8%	0.5	0.0%	6.7	5.3%	-5.3	営業活動見直し
業務内容のデジタル化による業務効率化	54.3%	3.2	68.2%	-0.2	63.6%	-11.2	51.7%	-9.4	42.9%	20.3	57.1%	9.6	42.1%	15.0	業務効率化
デジタルを活用した既存ビジネスの高度化や拡張	34.6%	-3.8	18.2%	1.8	31.8%	6.3	44.8%	1.4	47.6%	-26.5	28.6%	-8.6	31.6%	4.1	販路開拓
デジタル化による事業転換	7.9%	0.4	13.6%	-1.6	0.0%	4.8	0.0%	7.7	4.8%	5.7	14.3%	-7.6	21.1%	-14.0	増税対策

「DX推進のための組織体制づくり」を重点にしている経営者の割合は、全体では約3.3%と最も低い項目。

「業務内容のデジタル化による業務効率化」を重点にしている経営者の割合は、「製造業」、「宿泊業」、「飲食業」の順で高く、全体では約57.5%と最も高い項目で、前期比で約3ポイント増加している項目。

「デジタルを活用した既存ビジネスの高度化や拡張」を重点にしている経営者の割合は、「小売業」、「建設業」、「サービス業」の順で高く、全体でも約30.8%と2番目に高い。

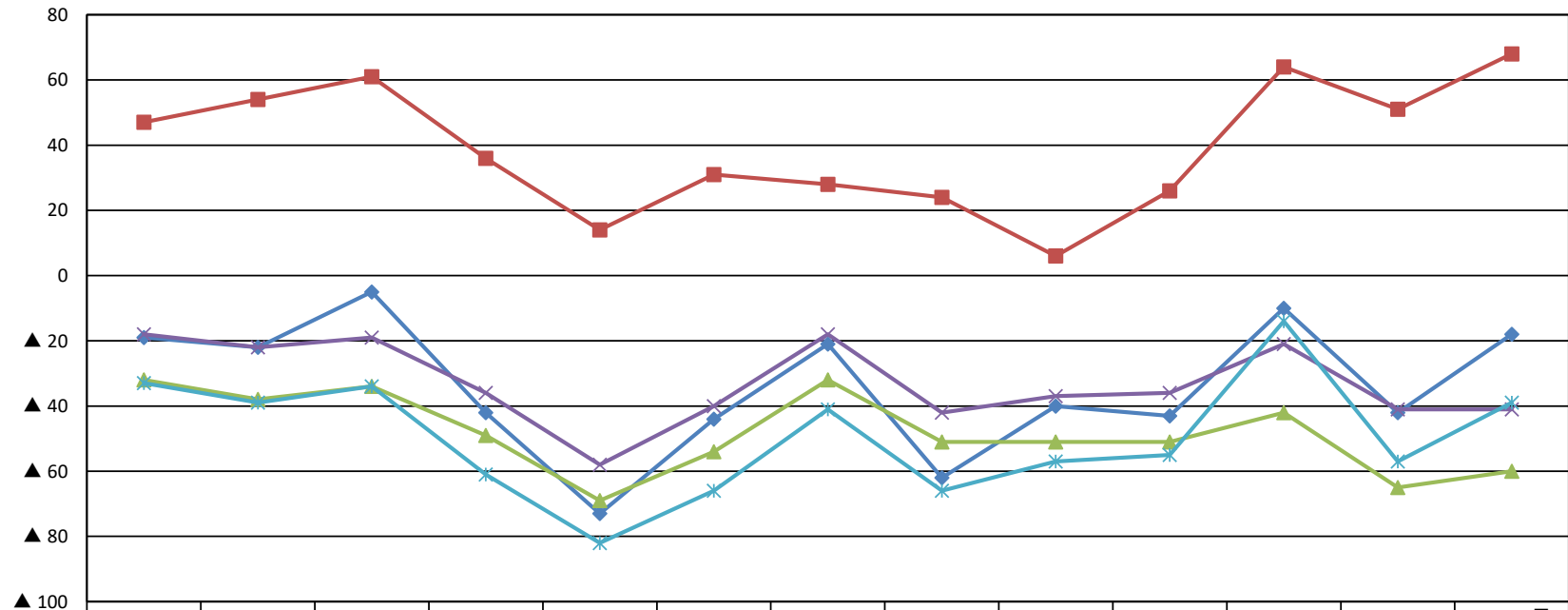
「デジタル化による事業転換」を重点にしている経営者の割合は、「製造業」、「飲食業」、「小売業」の順で高い。

【9】自由コメント

1	新型コロナウイルスの収束が大前提ではあるが、今後それを見越した動きが必要となってくる。ただし従前のような経済状況に戻るとは考えにくいので新サービスの提供を考えなくてはならない。
2	豊岡市独自のコロナ政策が薄いので業種問わず、商工会から働きかけをお願いします。確定申告で手一杯と言っている場合ではない。
3	大きく変動する景況感は、すべてコロナによる。普通に営業できる日は、いつになるのか。それまでやっていけるのか不安。
4	蔓延防止期間中で来客が少ない。但馬地域全体で少しでも盛り上げる、PRすることを考えないといけないと思う。高速が伸びれば、出石は立ち寄りすら無いと思う。知名度アップ、SNS等で魅力を発信することを続けないといけないと思う。
5	今後取り組んでいきたいことに「消費税増税対策」とありますが、もう3年前のことであり情勢に合せた変更が必要だと思います。よろしくお願いします。
6	仕入れ価格が今回ほど全部値上がりしたことはない。販売価格の見直し、仕入れ先の選別をしなければならない。
7	コロナ収束はもちろん経済の回復とアフターコロナへの対策を講じていきたい。

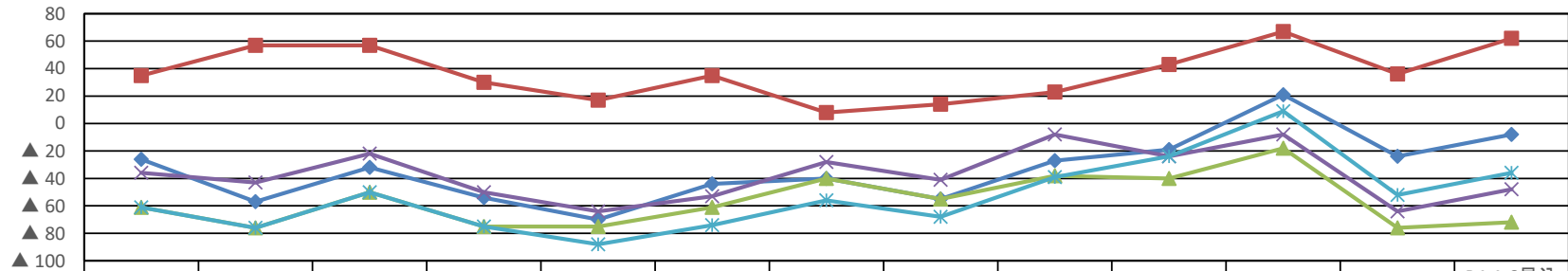
豊岡市商工会管内における3年間の景気動向調査結果

全業種DI推移



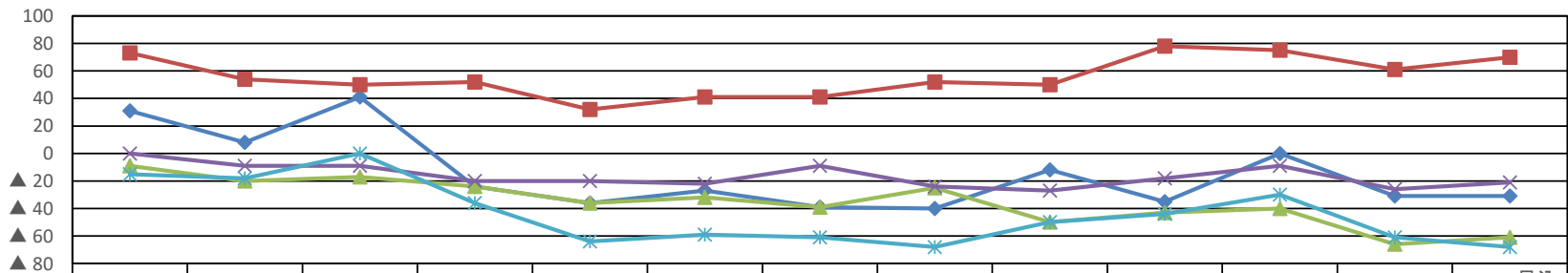
	R1.4-6	R1.7-9	R1.10-12	R2.1-3	R2.4-6	R2.7-9	R2.10-12	R3.1-3	R3.4-6	R3.7-9	R3.10-12	R4.1-3	R4.4-6見込み
● 売上高	▲ 19	▲ 22	▲ 5	▲ 42	▲ 73	▲ 44	▲ 21	▲ 62	▲ 40	▲ 43	▲ 10	▲ 42	▲ 18
■ 仕入単価	47	54	61	36	14	31	28	24	6	26	64	51	68
▲ 採算性	▲ 32	▲ 38	▲ 34	▲ 49	▲ 69	▲ 54	▲ 32	▲ 51	▲ 51	▲ 51	▲ 42	▲ 65	▲ 60
× 資金繰り	▲ 18	▲ 22	▲ 19	▲ 36	▲ 58	▲ 40	▲ 18	▲ 42	▲ 37	▲ 36	▲ 21	▲ 41	▲ 41
* 景況感	▲ 33	▲ 39	▲ 34	▲ 61	▲ 82	▲ 66	▲ 41	▲ 66	▲ 57	▲ 55	▲ 14	▲ 57	▲ 39

### 製造業DI推移



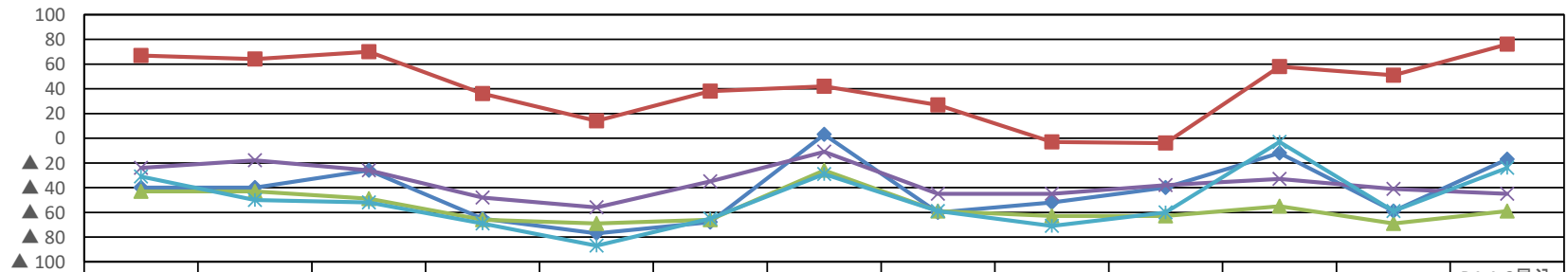
	R1.4-6	R1.7-9	R1.10-12	R2.1-3	R2.4-6	R2.7-9	R2.10-12	R3.1-3	R3.4-6	R3.7-9	R3.10-12	R4.1-3	R4.4-6見込み
● 売上高	▲ 26	▲ 57	▲ 32	▲ 54	▲ 70	-44	-40	▲ 55	▲ 27	▲ 19	21	▲ 24	▲ 8
■ 仕入単価	35	57	57	30	17	35	8	14	23	43	67	36	62
▲ 採算性	▲ 61	▲ 76	▲ 50	▲ 75	▲ 75	▲ 61	▲ 40	▲ 55	▲ 38	▲ 40	▲ 18	▲ 76	▲ 72
✕ 資金繰り	▲ 36	▲ 43	▲ 22	▲ 50	▲ 64	▲ 53	▲ 28	▲ 41	▲ 8	▲ 24	▲ 8	▲ 64	▲ 48
✧ 景況感	▲ 61	▲ 76	▲ 50	▲ 75	▲ 88	▲ 74	▲ 56	▲ 68	▲ 39	▲ 24	9	▲ 52	▲ 36

### 建設業DI推移



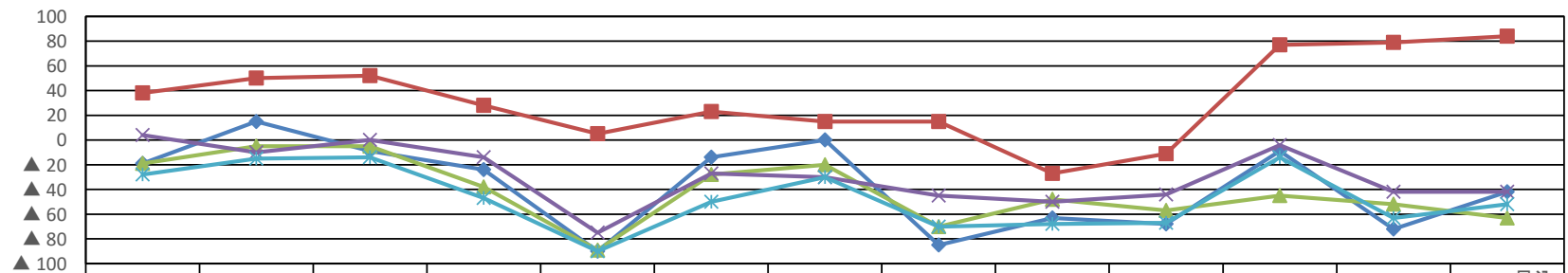
	R1.4-6	R1.7-9	R1.10-12	R2.1-3	R2.4-6	R2.7-9	R2.10-12	R3.1-3	R3.4-6	R3.7-9	R3.10-12	R4.1-3	R4.4-6見込み
● 売上高	31	8	41	▲ 24	▲ 36	▲ 27	▲ 39	▲ 40	▲ 12	▲ 35	0	▲ 31	▲ 31
■ 仕入単価	73	54	50	52	32	41	41	52	50	78	75	61	70
▲ 採算性	▲ 9	▲ 20	▲ 17	▲ 24	▲ 36	▲ 32	▲ 39	▲ 25	▲ 50	▲ 43	▲ 40	▲ 66	▲ 61
✕ 資金繰り	0	▲ 9	▲ 9	▲ 20	▲ 20	▲ 22	▲ 9	▲ 24	▲ 27	▲ 18	▲ 9	▲ 26	▲ 21
✧ 景況感	▲ 15	▲ 18	0	▲ 36	▲ 64	▲ 59	▲ 61	▲ 68	▲ 50	▲ 44	▲ 30	▲ 61	▲ 68

### 小売業DI推移



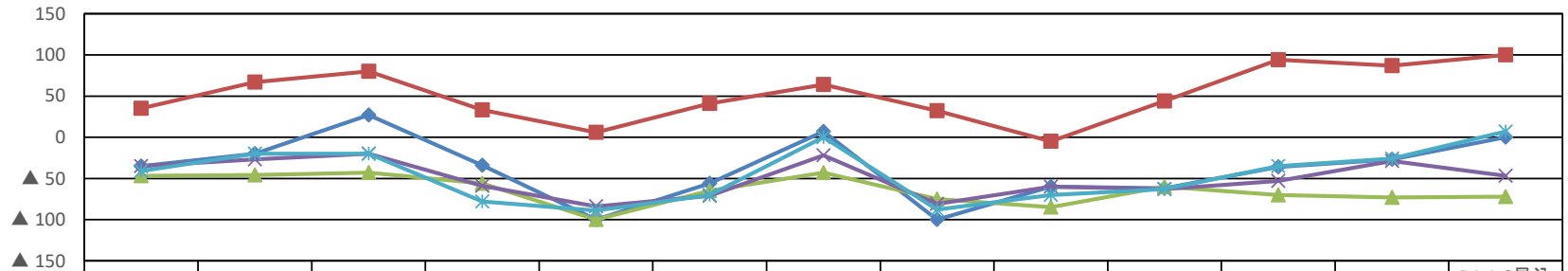
	R1.4-6	R1.7-9	R1.10-12	R2.1-3	R2.4-6	R2.7-9	R2.10-12	R3.1-3	R3.4-6	R3.7-9	R3.10-12	R4.1-3	R4.4-6見込み
● 売上高	▲ 40	▲ 40	▲ 26	▲ 65	▲ 77	▲ 68	3	▲ 60	▲ 52	▲ 40	▲ 12	▲ 59	▲ 17
■ 仕入単価	67	64	70	36	14	38	42	27	▲ 3	▲ 4	58	51	76
▲ 採算性	▲ 43	▲ 43	▲ 49	▲ 66	▲ 69	▲ 66	▲ 26	▲ 59	▲ 63	▲ 63	▲ 55	▲ 69	▲ 59
✕ 資金繰り	▲ 24	▲ 18	▲ 26	▲ 48	▲ 56	▲ 35	▲ 11	▲ 45	▲ 45	▲ 38	▲ 33	▲ 41	▲ 45
✧ 景況感	▲ 31	▲ 50	▲ 52	▲ 69	▲ 87	▲ 65	▲ 29	▲ 59	▲ 71	▲ 60	▲ 3	▲ 59	▲ 24

### 飲食業DI推移



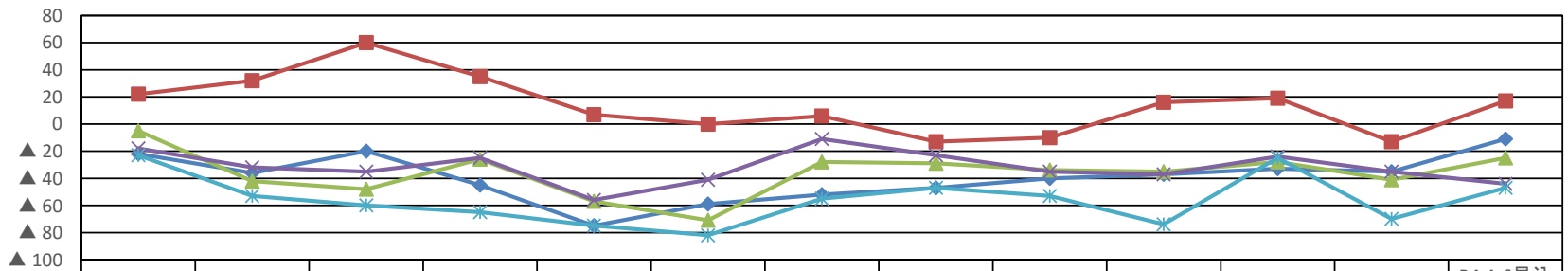
	R1.4-6	R1.7-9	R1.10-12	R2.1-3	R2.4-6	R2.7-9	R2.10-12	R3.1-3	R3.4-6	R3.7-9	R3.10-12	R4.1-3	R4.4-6見込み
● 売上高	▲ 19	15	▲ 9	▲ 24	▲ 90	▲ 14	0	▲ 85	▲ 63	▲ 68	▲ 9	▲ 72	▲ 42
■ 仕入単価	38	50	52	28	5	23	15	15	▲ 27	▲ 11	77	79	84
▲ 採算性	▲ 19	▲ 5	▲ 5	▲ 38	▲ 89	▲ 28	▲ 20	▲ 70	▲ 48	▲ 57	▲ 45	▲ 52	▲ 63
✕ 資金繰り	4	▲ 10	0	▲ 14	▲ 75	▲ 27	▲ 30	▲ 45	▲ 50	▲ 44	▲ 4	▲ 42	▲ 42
✧ 景況感	▲ 28	▲ 15	▲ 14	▲ 47	▲ 90	▲ 50	▲ 30	▲ 70	▲ 68	▲ 67	▲ 14	▲ 63	▲ 52

### 宿泊業DI推移



	R1.4-6	R1.7-9	R1.10-12	R2.1-3	R2.4-6	R2.7-9	R2.10-12	R3.1-3	R3.4-6	R3.7-9	R3.10-12	R4.1-3	R4.4-6見込み
◆売上高	▲ 35	▲ 20	27	▲ 34	▲ 100	▲ 56	7	-100	▲ 60	▲ 62	▲ 36	▲ 27	0
■仕入単価	35	67	80	33	6	41	64	32	▲ 5	44	94	87	100
▲採算性	▲ 47	▲ 46	▲ 43	▲ 56	▲ 100	▲ 65	▲ 43	▲ 75	▲ 85	▲ 60	▲ 70	▲ 73	▲ 72
×資金繰り	▲ 35	▲ 27	▲ 20	▲ 59	▲ 84	▲ 71	▲ 22	▲ 81	▲ 60	▲ 63	▲ 53	▲ 29	▲ 47
※景況感	▲ 41	▲ 20	▲ 20	▲ 78	▲ 89	▲ 70	0	▲ 88	▲ 70	▲ 63	▲ 35	▲ 26	7

### サービス業DI推移



	R1.4-6	R1.7-9	R1.10-12	R2.1-3	R2.4-6	R2.7-9	R2.10-12	R3.1-3	R3.4-6	R3.7-9	R3.10-12	R4.1-3	R4.4-6見込み
◆売上高	▲ 22	▲ 36	▲ 20	▲ 45	▲ 75	▲ 59	▲ 52	▲ 47	▲ 40	▲ 37	▲ 33	▲ 35	▲ 11
■仕入単価	22	32	60	35	7	0	6	▲ 13	▲ 10	16	19	▲ 13	17
▲採算性	▲ 5	▲ 42	▲ 48	▲ 26	▲ 57	▲ 71	▲ 28	▲ 29	▲ 34	▲ 35	▲ 28	▲ 41	▲ 25
×資金繰り	▲ 18	▲ 32	▲ 35	▲ 25	▲ 56	▲ 41	▲ 11	▲ 23	▲ 35	▲ 37	▲ 24	▲ 35	▲ 44
※景況感	▲ 23	▲ 53	▲ 60	▲ 65	▲ 75	▲ 82	▲ 55	▲ 47	▲ 53	▲ 74	▲ 25	▲ 70	▲ 47